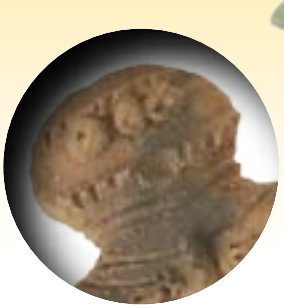
平成20年度企画展

縄文メトロポリス

イドサク
IDOSAKU



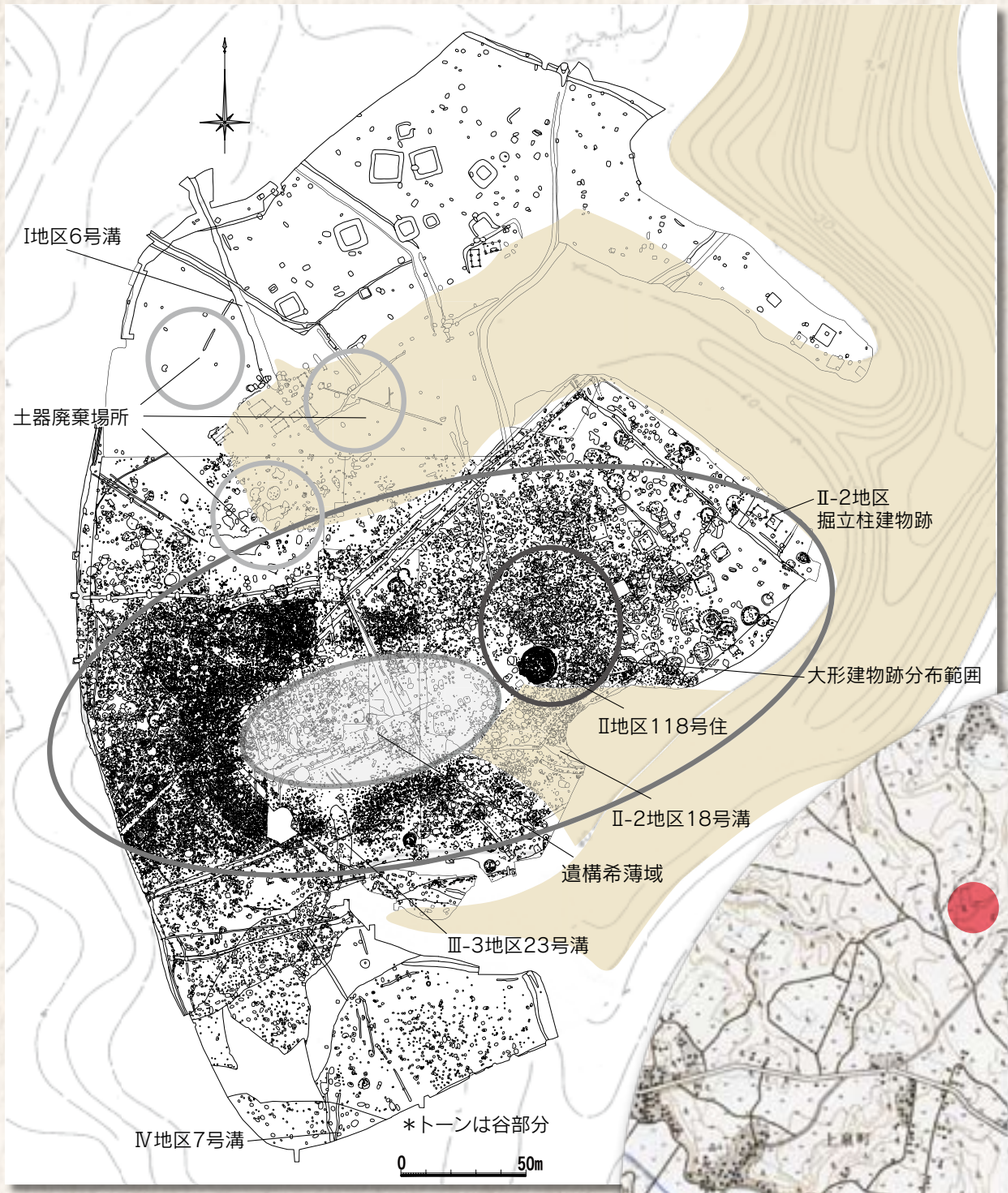
2008 12 13㊏ ▶ 2009 6 30㊋

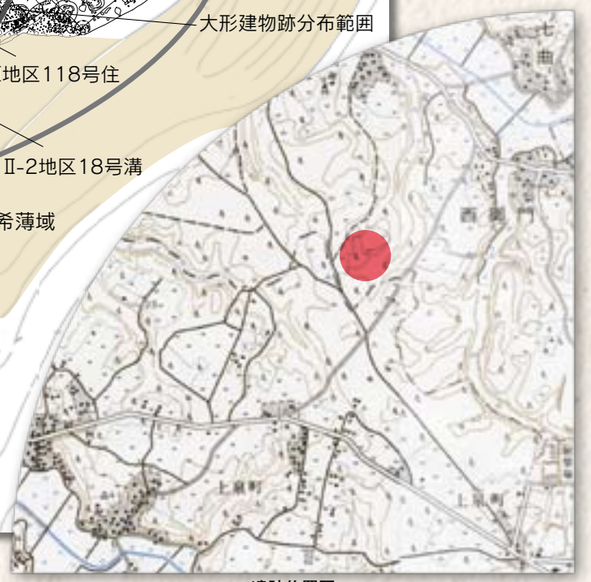
今から3,000～4,000年前、縄文時代後・晩期の印旛地域には、地域の拠点となりうる大集落がつくられていました。その規模は、さながら大都市（メトロポリス）といった趣があります。なかでも佐倉市の宮内井戸作遺跡は、隣接する千葉市域部分も含め、この時期の集落のほぼ全域を調査した遺跡として注目されます。

今回の展示では、足掛け20年という歳月をかけて行われた発掘調査、整理作業の成果と、総重量100tに及ぶ膨大な出土品のなかから、人々の暮らしに欠かせない「食」「祈」「装」に関する資料を集め、宮内井戸作遺跡の実像に迫ってみました。

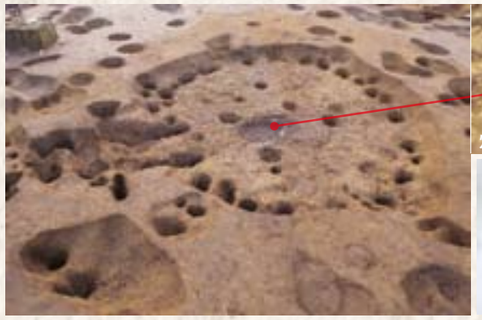
IDOSAKU（イドサク）

宮内井戸作遺跡は、佐倉市の南部、鹿島川中流域右岸の標高約 40m の台地上に立地しています。周囲は山林とわずかにひらかれた畑地が広がる農村地帯です。
この地で、開発事業に伴う発掘調査がはじまったのが平成元年。調査に携わった人たちの数、延べ１万１千人。調査面積は、実に 80,000㎡を超える広大なものでした。
そのため、調査区を便宜上Ⅰ～Ⅵ地区にわけ、遺跡のほぼ全域において大量の遺物が出土することから、すべて人力による掘り下げを行いました。
調査の結果、佐倉市のみならず、全国的にみても大規模かつ拠点的な縄文時代後・晩期の集落であることがわかりました。





遺跡位置図



柄鏡形住居跡（Ⅵ地区 11 号住居跡）

18 号溝出土土器

道として利用された溝（Ⅱ-2 地区 18 号溝）

直径約 15m の大形建物跡（Ⅱ地区 118 号住居跡）

Ⅱ-2 地区 1・2 号掘立柱建物跡

宮内井戸作遺跡の集落

宮内井戸作遺跡では、柱穴や貯蔵穴など集落を形づくる約 5,000 基の遺構が見つかっています。

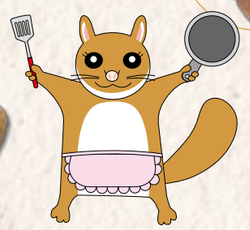
集落は、縄文時代中期から後期にかけてしだいに規模が拡大し、柄鏡形や長方形の住居、掘立柱建物などがつくられました。また遺跡の中央部には、遺構や遺物が希薄な空間があり、建物はその周囲に繰り返しつくられていました。さらに、集落の中には道がつくられ（6・7・18・23 号溝）、6 号溝の周辺を土器などの廃棄場所として利用していることがわかりました。

そして集落は、後期中葉の加曽利 B 式期に最盛期を迎え、晩期まで続いていきます。それまで遺跡全体に広がっていた、直径 4 ～ 6m 程の住居の分布が遺跡の西側に移り、かわって東側の谷に面した所に、直径 10m 以上の大形建物がつくられるようになりました。

食

集落からは、食料を獲得するために使われた石鏃（せきぞく）（矢じり）や土錘（どすい）（網に付けるおもり）、調理や食事に欠かせない土器や石器など、様々な道具が見つかりました。また、出土した貝殻や炭化物などから、川や海の貝を食糧としていたこと、堅果類のなかでも特にクリを好んで採集していたことがわかりました。その他、アワビ形土製品、お酒を飲むのに使われたとされる注口土器もみられ、自然に左右されながらも多彩な食生活だったことがわかりました。

注口土器（精製）



後期の土器（粗製）

様々な用途に使われた石器

アワビ形土製品

貝が出土した土坑（Ⅱ地区 854 号土坑）

様々な形の土偶

祈

地元で作られた
遮光器土偶

住居跡や土坑からは、様々な祈りの道具が見つかっています。なかでも東北地方からもたらされた土偶や、その影響を受けて地元で作られた遮光器土偶が注目されます。また、火を受けた石棒は、食料となる動植物の繁殖や子孫繁栄などを願って、この地で共同体の祭祀が行われたことを物語っています。

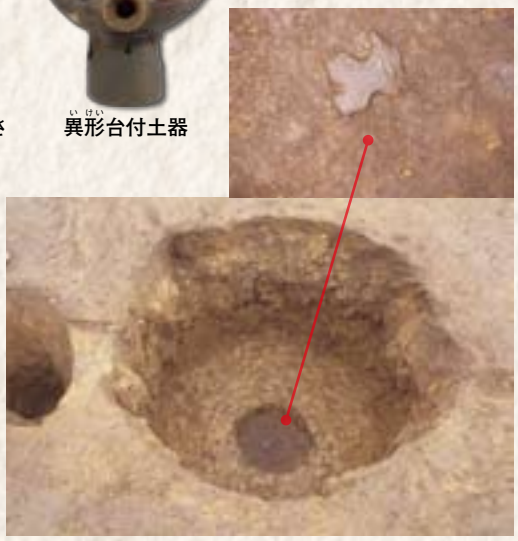
石棒・石剣・独鈷石

東北からもたらされた遮光器土偶

異形台付土器

ミニチュア土器

石剣出土状況（Ⅱ地区 284 号土坑）


土偶が出土した土坑（Ⅲ-3 地区 66 号土坑）

装

骨でできた髪飾りや、精巧な文様を施した耳飾り、今でいうネックレスやブレスレットにあたる、ヒスイやサメの歯でできた垂飾品など、多様な装飾品が見つかっています。とくにヒスイは、本遺跡の周辺ではとれず、遠く長野県から新潟県にかけて流れる姫川で採れたものを手に入れていました。

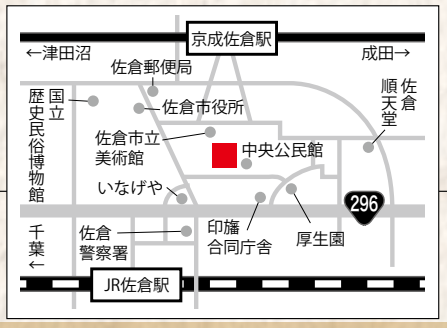
土製・骨牙製・石製装飾品

耳飾り出土状況（Ⅱ地区）

耳飾り

おわりに

宮内井戸作遺跡の集落は、大形の建物や掘立柱建物、道などが計画的に配置されていました。周辺にも江原台遺跡、吉見台遺跡、また国指定史跡井野長割遺跡など、同時代の拠点的な集落があり、縄文都市のような情景が目に浮かんでくるようです。今回の展示において、「食」「祈」「装」に関わる出土品を通して遥か昔に思いを馳せ、大集落である宮内井戸作遺跡を知っていただく契機となれば幸いです。



財団法人 印旛郡市文化財センター
佐倉市鏑木町198-3　TEL 043-484-0126　http://www.inba.or.jp/